

カウロバクター・クレセントゥス由来ペクチンリラーゼ、組換え型

Cat. No. NATE-1222

Lot. No. (See product label)

はじめに

概要 ペクチン酸リラーゼ (EC 4.2.2.2) は、植物組織のマセレーションと軟腐敗に関与する酵素です。ペクチン酸リラーゼは、ペクチン酸の除去的切断を行い、非還元末端に4-デオキシ- α -D-マンナン-4-エヌロン酸基を持つオリゴ糖を生成します。このタンパク質は、花粉発生の後期に最大限に発現します。ペクチン酸リラーゼ遺伝子の花粉発現は、花粉管の成長中のペクチン分解の必要性に関連している可能性が示唆されています。この酵素は、特に多糖類に作用する炭素-酸素リラーゼのファミリーに属します。

別名 (1→4)-アルファ-D-ガラクトuron酸リラーゼ; ポリガラクトuron酸トランスエリミナーゼ; ペクチン酸トランスエリミナーゼ; ポリガラクトuron酸リラーゼ; エンドペクチンメチルトランスエリミナーゼ; ペクテートトランスエリミナーゼ; エンドガラクトuron酸トランスエリミナーゼ; ペクチン酸リラーゼ; ペクチンリラーゼ; アルファ-1,4-D-エンドポリガラクトuron酸リラーゼ; PGAリラーゼ; PPase-N; エンドアルファ-1,4-ポリガラクトuron酸リラーゼ; ポリガラクトuron酸リラーゼ; ペクチン・トランスエリミナーゼ; ポリガラクトuron酸・トランスエリミナーゼ; ペクテートリラーゼ; EC 4.2.2.2

製品情報

由来	カウロバクター・クレセントゥス CB15
形態	3.2 M 硫酸アンモニウムで供給されます
EC番号	EC 4.2.2.2
CAS登録番号	9015-75-2
分子量	58857.2 Da
純度	> SDS-PAGEによって判断された95%
活性	283 U/mg
濃度	328 U/ml
最適pH	~ 8.5
最適温度	37°C (37°Cまで安定)
単位定義	1ユニットは、37°Cで232 nmで測定された、0.1 mM CaCl ₂ を含む50 mM Tris-HClバッファー (pH 8.5) 中の1.3 mg/mLポリガラクトuron酸から、1分あたり1 μ molの4,5-不飽和ガラクトuron酸生成物を放出するのに必要な酵素の量として定義されます。

使用法とパッケージング

調製方法 使用前に酵素沈殿を完全に均一化するために、バイアルを十分に振とうしてください。

保管・発送情報

保存方法 4°Cで保管してください (常温で出荷されます)